

令和8年5月13日

【鳥取大学 × 大山こむぎプロジェクト】
大山こむぎ圃場見学を行います

5月15日（金）に大山こむぎの見学会を行います。圃場での取り組みの取材希望者は、本学広報・基金室に連絡後、現地（弓浜圃場または岸田牧場）に集合してください。

㈱大山こむぎプロジェクトは、平成22年度に米子市のパン製造販売事業者と農業者を中心とした農商工連携事業の取り組みとして始まったものであり、鳥取県内の小麦の生産拡大、小麦粉を使った商品開発・販路拡大、学校給食版用小麦としての活用促進などを進めています。

本学は、㈱大山こむぎプロジェクトと共同で、鳥取県の気候に適した新品種を開発し、「鳥大WT1号」および「鳥大WT2号」として、農林水産省に品種登録を申請中です。

◆開催概要

日時 令和8年5月15日（金）

日程 10：30 米子市役所 表敬訪問

13：00 頃 美保テクノス弓浜圃場（米子市彦名新田）の小麦生産を見学

14：30 頃 岸田牧場（琴浦町杉下 455-149）新品種「鳥大 WT2 号」の種子増殖を見学

◆主な参加者

とっとり乾地研倶楽部会長 大田齊之

とっとり乾地研倶楽部事務局 奥田俊範

鳥取大学乾燥地研究センター長 坪充

鳥取大学乾燥地研究センター教授 岸井正浩

鳥取大学乾燥地研究センター准教授 石井孝佳

鳥取大学大学農学部准教授 佐久間俊

鳥取大学研究推進機構産学連携コーディネーター 福重俊二

鳥取大学特任教授 辻本壽

大山こむぎプロジェクト代表 出井亘

美保テクノス社長 野津健市

美保テクノス社長 増井幸一

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学乾燥地研究センター 辻本

Mail tsujim@tottori-u.ac.jp

【本件の取材申込について】

鳥取大学広報・基金室

電話 0857-31-5550

FAX 0857-31-5018

Mail toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学 × 大山こむぎプロジェクト

～鳥取に適した新品種の開発で、地域の未来をつくる～

鳥取県の気候に適し、穂発芽に強く、製パン性に優れた小麦の新品種を共同で開発し、「大山こむぎ」として地域の農業・産業・食文化の発展に貢献します。



地域で育て、地域で食べ、地域ブランドへ

① 栽培（農家）



大山の恵まれた自然環境で
高品質な小麦を栽培

② 収穫・乾燥・保管



適切な収穫・乾燥・保管で
品質を確保

③ 加工・製パン（地元企業）



地元の製パン技術で
おいしいパンに

④ 消費・PR（地域の皆さま）



地元で愛され、県内外へ
「大山こむぎ」を発信

⑤ 地域ブランドへ



鳥取を代表する小麦として
地域ブランドを確立

鳥取大学との共同研究

研究のポイント

- ✓ 穂発芽しにくい性質（収穫後の品質低下を防ぐ）
- ✓ パンの膨らみや食感を良くする遺伝子を導入
- ✓ 「農林61号」をベースに、鳥取の環境に適した系統を開発



研究のイメージ



期待される効果



農業の振興

穂発芽に強く、安定した品質・収量により、
農家の所得向上に貢献



産業の活性化

地元製パン業者の競争力強化と、
新たな商品開発を促進



地域の魅力向上

「大山こむぎ」ブランドの確立により、
観光・交流人口の増加に寄与



持続可能な未来へ

大学・企業・生産者・行政が連携し、
次世代につながる地域づくりを推進

大山の恵みと研究の力で、鳥取の未来をもっと豊かに。

